



認証番号 0013216

【2023年度】

環境経営レポート

[対象期間]

2022年12月1日～2023年11月30日

[発行日]

2024年 6月 1日



株式会社池田組

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社池田組

代表取締役 池田 一雄

(2) 所在地

本社・資材倉庫：兵庫県丹波市柏原町大新屋 248-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 池田 佳正

環境管理担当者 勝岡 健二

連絡先：TEL 0795 - 72 - 0322

FAX 0795 - 72 - 0344

(4) 事業の概要

建築工事業・道路舗装工事業・上下水道工事業・土木工事業・
土地造成工事業・リフォーム工事業

(5) 事業規模

年間売上高 132 百万円

	本社・資材倉庫
総従業員	10 人
延べ床面積	526.3 m ²
敷地面積	1180.8 m ²

(6) 建設現場等の概要

元請工事 92 件

下請工事 6 件

(7) 事業年度 12 月 1 日～翌年 11 月 30 日

(8) 主な環境負荷の実績

項目	単位	環境負荷の実績 2023 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	65,465
廃棄物排出量	トン	55.94
一般廃棄物	トン	0.12
産業廃棄物	トン	55.82
水使用量	m ³	123

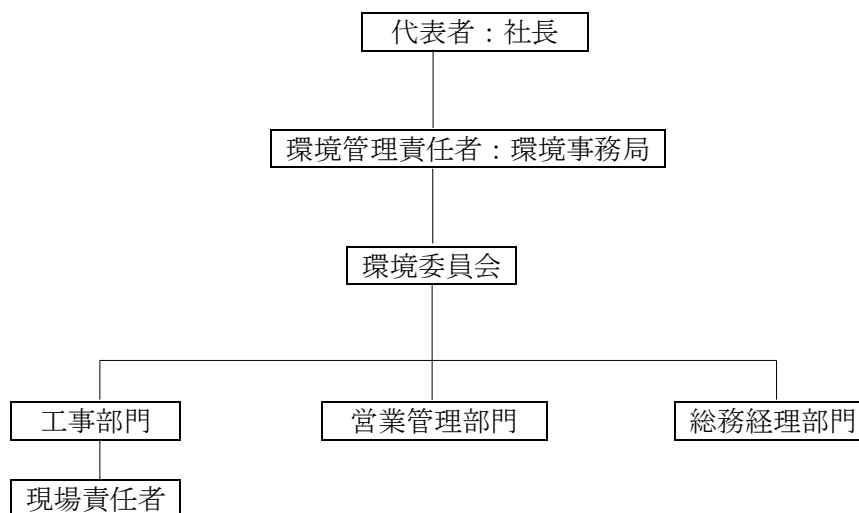
電力の二酸化炭素排出係数；0.334 kg-CO₂/kWh

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

事業活動：建築工事業・道路舗装工事業・上下水道工事業・土木工事業・
土地造成工事業・リフォーム工事業

対象事業所：本社・資材倉庫

【推進組織図】



【適用範囲】

株式会社池田組 本社・資材倉庫、及び建設現場

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境方針を策定し、従業員に周知させる ③資源（人・もの・金）の用意をする ④エコアクション 21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する ⑥環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	①エコアクション 21 建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21 文書類の承認をする ④環境委員会の委員長として EMS 全般の舵取りを行い、実行を推進する ⑤環境経営レポートを作成する
環境委員会	①EA21 環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
現場責任者	① 現場における EA21 実行責任者を兼ねる。 ② 現場の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う。ほか

3. 環境経営方針

株式会社池田組 環境経営方針

株式会社池田組は、事業を永続し地域社会とともに発展していくためには、「環境負荷の低減」と「循環型社会の実現」を果たすことが重要課題であると認識し、次世代により良い地域および地球環境を引き継ぐため、事業活動のあらゆる面において、環境保全と汚染防止に配慮して行動します。

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに施工時における環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 総排水量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。
3. 環境経営システムの継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2020 年 5 月 1 日

株式会社池田組

代表取締役 池田 一雄

4. 環境経営目標

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境経営目標	基準年度 2019 年度実績	2023 年度 目標	2024 年度 目標	2025 年度 目標
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (CO ₂ 排出量削減)	12,820 (kWh)	12,307 (△4%)	12,179 (△5%)	12,051 (△6%)
		4,282 (kg-CO ₂)	4,111	4,068	4,025
2	電力使用量の削減 (工事現場) ※1 (CO ₂ 排出量削減)	4,855 (kWh)	4,661 (kWh)	4,612 (kWh)	4,564 (kWh)
		1,622 (kg-CO ₂)	1,557g-CO ₂)	1,541 (kg-CO ₂)	1,525 (kg-CO ₂)
3	自動車燃料の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	9,920 (ℓ)	9,523 (△4%)	9,424 (△5%)	9,325 (△5%)
		23,014 (kg-CO ₂)	22,093	21,863	21,633
4	重機燃料の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	15,500 (ℓ)	14,880 (△4%)	14,725 (△5%)	14,570 (△6%)
		39,990 (kg-CO ₂)	38,390	37,991	37,591
5	二酸化炭素排出量の削減 ※2	68,908 (kg-CO ₂)	66,152	65,463	64,774
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	93.4(%) ※3	93.8 (%)	93.9 (%)	94.0 (%)
7	一般廃棄物排出量の削減	104 (kg)	100 (kg) (△4%)	99 (kg) (△5%)	98 (kg) (△6%)
8	総排水量の削減	111 m ³	107 (△4%)	105 (△5%)	104 (△6%)
9	問題発生を未然に抑える 取組の推進※4	—	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上	評価ポイント 90 ポイント (%) 以上

※1：電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh

(関西電力株式会社 2018 年度の CO₂ 排出係数 調整後排出係数を使用)

※2：灯油の値は含まれていない。(使用量が少ないため、目標に設定していない)

※3：産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(49.41t)÷発生量(49.41t)=100.0%

※4：問題発生を未然に抑える取組の推進：評価は請負金額 500 万円(税込)以上の工事を対象とする。

※5：PRTR 物質の自社での使用はありません。

※6：化学物質は使用していない。

5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画の概要	環境経営計画の実績 2023 年度 (2022/12~2023/11)		次年度の環境経営計画
1	電力使用量の削減 本社 (CO ₂ 排出量削減)	・昼休みの消灯 ・空調設定温度の励行 ・部分消灯及びこまめな消灯 ・離席時のパソコンの画面OFF	目標 : 4,111 (kg-CO ₂) 実績 : 3,686 (kg-CO ₂) 達成率 : 111.5 % (○)	・部分消灯及びこまめな消灯を徹底している。 ・意識の積重ねにより総量として目標を達成できた。	・現在の取組を継続する
2	電力使用量の削減 工事現場 (CO ₂ 排出量削減)	・空調設定温度の励行 ・部分消灯及びこまめな消灯 ・離席時のパソコンの画面OFF	目標 : 1,557 (kg-CO ₂) 実績 : 4,380 (kg-CO ₂) 達成率 : 35.5 % (×)	・仮設電気を必要とする工事現場の増加により、未達成となった	・省エネ意識の徹底を図る
3	自動車燃料の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	・急発進、空吹かしの防止 ・アイドリングストップ ・相乗りの徹底 ・適正空気圧の確保	目標 : 22,093 (kg-CO ₂) 実績 : 18,405 (kg-CO ₂) 達成率 : 120.0 % (○)	・急発進や空吹かきを控える等、エコドライブの意識が浸透した。	・更に意識を徹底させる。
4	重機燃料の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	・アイドリングストップ ・作業内容に応じたアクセルワークの実施	目標 : 38,390 (kg-CO ₂) 実績 : 35,331 (kg-CO ₂) 達成率 : 108.7 % (○)	・建設機械を使用する工事の受注機会は増えたが、積極的な低燃費機械の使用とオペレーターの意識向上により達成が可能となった。	・作業内容に応じたアクセルワークを心がける

5	二酸化炭素排出量 ※ 1		目標 : 66, 152 (kg-CO ₂) 実績 : 61, 801 (kg-CO ₂) 達成率 : 107.0 % (○)		
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	・建設現場での分別強化	目標 : 93.8% 実績 : 93.4% 達成率 : 99.6% (×)	・受注工事の内容により、リサイクル率の向上に大きく寄与できる現場と、再生利用が非常に困難な現場とがあるが、可能な限り 4R 活動を推進し、分別の意識を浸透させるように心がける。	・分別を更に徹底する
7	一般廃棄物排出量の削減	・コピー用紙の裏紙使用 ・一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	目標 : 100kg 実績 : 120kg 達成率 : 83.3 % (×)	・排出量としては昨年並みであるが保管していた書類を処分したことにより増加した。 ・コピー用紙の裏面使用を徹底している	無駄な印刷をしない。分別の徹底
8	総排水量の削減	・水道の流しっぱなしの防止 ・節水意識の向上	目標 : 107 m ³ 実績 : 123 m ³ 達成率 : 87.0 % (×)	・建設現場での水の利用があった事が原因と考えられる。	・節水意識を更に高める。
9	問題発生を未然に抑える取組の推進	・工事における下記の環境配慮活動の実施 (1) 騒音・振動の低減 (2) 水質汚濁の防止 (3) 大気汚染の防止 (4) 建設廃棄物のリサイクル	目標 : 90 (%) 実績 : 100.0 (%) 達成率 : 111.1 (%) (○)	・工事における環境配慮活動は実施された。	・現在の取組を継続する

※ 1 : 灯油の値は含まれていない。(使用量が少ないため、目標に設定していない)

(注 ; ○ ; 目標達成、 × : 目標未達成)

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。
また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

順守評価日：令和5年11月30日

No.	適用される法律名	順守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約並びに業者の許可証有効期限の確認 マニフェスト伝票の管理 (A. B2. D. E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
2	建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
3	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届出 再資源化の完了報告	遵守
4	大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施届出	該当なし
5	労働安全衛生法 (石綿障害予防規則) (化学物質リスクアセスメント)	特別教育の実施・記録・保存 石綿等の封じ込め又は囲い込み作業 塗装作業等のリスクアセスメント記録	遵守
6	自動車 NOx・PM 法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
7	騒音規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準（騒音） 85 dBの遵守	該当なし
8	振動規制法	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準（振動） 75 dBの遵守	該当なし
9	オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
10	消防法 丹波市火災予防条例	少量危険物及び指定可燃物の保管の届出 消火器の設置	該当なし 遵守
11	フロン排出抑制法	エアコン用屋外機・室内機の自主簡易点検 (3 か月以内毎) 廃棄時の適正処理 点検記録の保存	遵守
12	自治体との災害時応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・ 体制確認
13	建築基準法	ホルムアルデヒドに関する規制（内装仕上、 換気設備の義務付け）	該当なし
14	建築物省エネ法	住宅建築物・非住宅建築物各々の規模において 適合義務、届出義務及び説明義務	遵守

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

7. 代表者による全体評価と見直し・指示

本年度はエコアクション21環境経営システムの運用を開始してから4期目でありました。

エコアクション21への取組と環境への配慮意識が少しずつ浸透し始め、全社員一丸となって取組んできましたが未達成項目が昨年度より一項目増えてしまいました。

大きな要因として、受注工事量の増加と現場の地理的条件などによって使用量が左右され、目標値を上回った項目の大半が建設現場事由となっており、現場の状況によって大きく使用量に変化が伴います。

しかし、最初から無理とは考えずにやれることから一步步省エネルギー・省資源化の意識を高め、日常的に削減に取り組みできるよう、定期的な実績報告及び勉強会を通じて、引き続き意識の啓発を行いたいと考えています。

また、未達成項目について大幅に数字を変化・改善することは難しいと思いますが地道に環境活動を行い、少しずつでも成果を上げるよう取り組んでいきたいと思っています。

【改善のための指示事項】

「環境経営方針」に従い事業を遂行する。

- | | | |
|------------------|--|-------------------------------|
| ・ 経営環境方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更する |
| ・ 経営環境目標及び経営環境計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更する |
| ・ 実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更する |

(実施日) 2024年1月25日

代表取締役 池田 一雄